

Think Globally Act Locally (Vol.33)

ボランティアのすすめ

新中1を迎え、それぞれに新しい学年のスタートを切り、1か月がたちました。上級生は学校生活にも慣れてきているので、余裕も生まれているでしょう。

さて、皆さんは5月の連休中に何か自分にできることはないか、考えて実行してみましたか？

ボランティアとは、「自分のまわり」の世界と積極的に関わることです。家族や知人、友人に関心をもつこと、自分の住む町と交流をもつことです。そして、誰かがやらなければならないなら自分がやってみよう！ このように考えることです。

『情けは人のためならず』自分にかえってくるのです。なかなか時間を見つけられないという人も、休日をちょっとしたボランティアに使ってみましょう。思わぬ人との輪ができるかもしれません。

活動体験記

空手の指導 於 横浜生麦道場(幼稚園) 高3男子

活動内容：園児たちに空手の指導をする。(具体的には、準備運動・柔軟運動・突き、蹴りの型を確認し、ミットを使用した実戦練習)

学んだこと/感想：以前から行っており、受験が近くなって一時やめていたが連休ということもあり一日復帰した。園児達が久しぶりの自分を歓迎してくれたこと、以前はすぐに弱音をはき泣いていたような子が、自慢気に蹴りを繰り返したりと、一人一人が成長した姿を見せてくれたことに感激した。

「空手の教室」というほんの小さな接点の中で、多くの無邪気な子供達と触れ合い、理解しあえて、先生という職は大変ながらも素晴らしいと思った。この機会を与えてもらったことに感謝している。

まずは身近なところから。次のようなプロジェクトが渋谷区で行われています。

渋谷クリーンアップ・プロジェクト
～渋谷からボランティアの文化を広げよう～

日 時：平成 17 年 5 月 21 日（土） 午後 2 時～ 4 時
集合場所：美竹公園（渋谷児童館の隣り。学校から徒歩 3 分）
持ち物：ユニフォームを持っている方は活動を記録しますので持ってきてください。
清掃用具はこちらで準備します。
申込み：メールまたは電話で東京事務局 担当：下平まで
(E-mail: info@sfpjapan.org 電話：03-5784-6723)

この活動は、1～2か月に1回の割合で定期的に行われています。参加者からは、『はじめは、人通りの多い場所での作業が気恥ずかしかったけれど、夢中に作業を行ううちにその恥ずかしい気持ちも忘れていた。道行く人に「お疲れさま。」と言われたことがとても嬉しかった。このような小さなことが平和につながっていくのだなと思った。』などの声が聞かれます。本校の近くが活動場所ですし、やってみてはいかがでしょう。

朝日新聞掲載

難民の子へ届け

創作絵本を募集

東京のボランティア会

アジアで教育・文化支援をしている「シャンティ国際ボランティア会」(SVA、本部・東京都新宿区)が、創作絵本のコンクール「世界にとどけ 絵本は友だち」の参加作品を募集している。SVAは昨年からの絵本コンクールを開いており、今回が2回目。今年のテーマは「ひとつの地球 ひとつの命」。入選作の1編は出版し、訳文をつけてタイ、ラオス、カンボジア、アフガニスタン、ミャンマーの難民キャンプの子どもたちに届ける。全国の図書館などにも寄贈する。

年齢、性別、国籍、職業などの制限はないが、自作で未発表の日本語作品に限る。〆切は7月29日(当日消印有効)。

問い合わせはSVA絵本コンクール募集係

(電話03-5360-1233、FAX 03-5360-1220)ホームページは <http://www.sva.or.jp>